

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月4日

上場会社名 TDCソフトウェアエンジニアリング株式会社

上場取引所 東

コード番号 4687 URL http://www.tdc.co.jp/

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)谷上 俊二

問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)岩田 伸 (TEL)03(6730)8111

四半期報告書提出予定日 平成26年2月5日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	13,023	8.9	364	△4.7	378	△10.8	209	△12.7
25年3月期第3四半期	11,956	1.0	382	5.7	424	8.6	240	30.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	34 40	—
25年3月期第3四半期	40 12	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	9,918	6,498	65.5
25年3月期	9,537	6,309	66.2

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 6,498百万円 25年3月期 6,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0 00	—	25 00	25 00
26年3月期	—	0 00	—		
26年3月期(予想)				25 00	25 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	5.5	900	27.1	900	19.9	470	38.7	77 01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	6,278,400株	25年3月期	6,278,400株
26年3月期3Q	175,529株	25年3月期	175,289株
26年3月期3Q	6,103,041株	25年3月期3Q	5,995,259株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
4. 補足情報 .....	9
生産、受注及び販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果が下支えするなかで、輸出が持ち直し傾向にあり、また、企業収益が改善し、国内企業の設備投資が復調に転じつつあるなど、景気は緩やかに回復しております。

一方、IT関連投資も緩やかな回復基調にあり、需要環境は改善しておりますが、受注獲得競争は依然として厳しい状況にあり、必ずしも楽観できる状況にはありません。

このような環境の中で、当社は、平成25年4月から平成28年3月における中期経営計画『For the NEXT STAGE』のもと、「お客様から最も信頼されるパートナー企業の実現」を目指し、お客様の繁栄への寄与に努めております。また、お客様の経営課題と一緒に取り組むパートナー型ビジネス及びサービス提供型のソリューション型ビジネスの提案力強化を重点施策として取り組んでおります。

当第3四半期累計期間の業績は、金融分野におけるシステム開発案件が拡大したことなどにより、売上高は13,023百万円（前年同期比8.9%増）となりました。利益面では、売上高の増加により売上総利益が前年同期に比べ増加いたしました。平成25年6月に実施した本社移転に伴い販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益は364百万円（前年同期比4.7%減）、経常利益は378百万円（前年同期比10.8%減）、四半期純利益は209百万円（前年同期比12.7%減）となりました。

業種分野別の売上高は次のとおりであります。

金融分野は、銀行関連、クレジット関連向けの大型システム開発案件などが寄与し、前年同期比17.0%増収の8,398百万円となりました。

法人分野は、回復傾向にありますが、電気機器等の製造関連向けや通信関連向けのシステム開発案件が減少したことなどにより、前年同期比0.1%増収の3,359百万円となりました。

公共・公益分野は、学校、団体向けのシステム開発案件が減少したことなどにより、前年同期比11.0%減収の1,266百万円となりました。

## 【業種分野別売上高】

(単位：百万円)

業種分野／期	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		前年同期比
	金額	構成比	金額	構成比	
金融	7,175	60.0%	8,398	64.5%	+17.0%
法人	3,357	28.1%	3,359	25.8%	+0.1%
公共・公益	1,424	11.9%	1,266	9.7%	△11.0%
合計	11,956	100.0%	13,023	100.0%	+8.9%

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末と比べ381百万円増加し、9,918百万円となりました。

流動資産は、売掛金などの減少がありましたが、現金及び預金、たな卸資産などの増加があり、前事業年度末と比べ437百万円増加し8,156百万円となりました。固定資産は、有形固定資産、投資有価証券などの増加がありましたが、差入保証金などの減少があり、前事業年度末と比べ56百万円減少し、1,762百万円となりました。

流動負債は、買掛金、短期借入金などの増加がありましたが、未払費用、未払法人税等などの減少があり、前事業年度末と比べ43百万円減少し、3,147百万円となりました。固定負債は、資産除去債務、長期未払費用の増加があり、前事業年度末と比べ236百万円増加し、273百万円となりました。

純資産は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加があり、前事業年度末と比べ188百万円増加し、6,498百万円となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の業績が概ね計画通りに推移していることから、平成25年5月8日に公表した通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて法人税等を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,113,486	3,679,587
売掛金	3,448,230	2,431,594
たな卸資産	487,889	1,392,012
繰延税金資産	529,336	529,336
その他	140,060	124,486
貸倒引当金	△51	△67
流動資産合計	7,718,951	8,156,949
固定資産		
有形固定資産	47,578	229,128
無形固定資産	188,179	199,247
投資その他の資産		
投資有価証券	697,240	803,016
関係会社株式	37,280	37,280
関係会社出資金	77,000	77,000
差入保証金	754,511	392,619
その他	17,202	34,573
貸倒引当金	△62	△10,824
投資その他の資産合計	1,583,172	1,333,664
固定資産合計	1,818,931	1,762,040
資産合計	9,537,883	9,918,989
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	754,626	841,159
短期借入金	467,030	1,100,000
未払金	151,122	122,642
未払費用	1,299,681	793,838
未払法人税等	290,269	10,647
役員賞与引当金	32,700	35,250
受注損失引当金	34,173	35,240
資産除去債務	27,627	—
その他	133,355	208,383
流動負債合計	3,190,586	3,147,161
固定負債		
長期未払金	30,100	30,100
長期未払費用	—	150,831
リース債務	6,797	5,229
繰延税金負債	807	38,850
資産除去債務	—	48,720
固定負債合計	37,705	273,731
負債合計	3,228,291	3,420,893

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	970,400	970,400
資本剰余金	820,450	820,450
利益剰余金	4,680,096	4,737,477
自己株式	△210,806	△147,365
株主資本合計	6,260,140	6,380,962
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	49,450	117,134
評価・換算差額等合計	49,450	117,134
純資産合計	6,309,591	6,498,096
負債純資産合計	9,537,883	9,918,989



(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	11,956,204	13,023,707
売上原価	10,075,078	10,981,450
売上総利益	1,881,126	2,042,256
販売費及び一般管理費	1,499,020	1,678,061
営業利益	382,106	364,194
営業外収益		
受取利息	494	471
受取配当金	17,356	17,804
助成金収入	24,840	6,211
その他	5,258	4,952
営業外収益合計	47,950	29,441
営業外費用		
支払利息	5,062	4,580
貸倒引当金繰入額	—	10,752
その他	810	—
営業外費用合計	5,872	15,332
経常利益	424,184	378,303
税引前四半期純利益	424,184	378,303
法人税等	183,671	168,344
四半期純利益	240,512	209,958

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第3四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

当社は、「システム開発」のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## 生産、受注及び販売の状況

当社は、開発から運用・管理までの一貫したシステム開発サービス及びシステム製品の販売等を一体とするシステム開発事業を営んでおり、当社におけるセグメントは、「システム開発」のみの単一セグメントであります。

なお、当社においては、開発システム等の納期が、得意先の期末（多くは3月）に集中する傾向が顕著であります。このため、売上高等は第4四半期会計期間に偏重する傾向があります。

## ① 生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
システム開発	10,981,450	+9.0
合計	10,981,450	+9.0

(注) 1 金額は、製造原価によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 受注実績

当第3四半期累計期間における受注実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
システム開発	13,019,143	+5.5	5,463,121	△0.8
合計	13,019,143	+5.5	5,463,121	△0.8

(注) 1 金額は、販売価格で記載しております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③ 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
システム開発	13,023,707	+8.9
合計	13,023,707	+8.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。